

千葉県 地域学校協働活動ボランティアだより

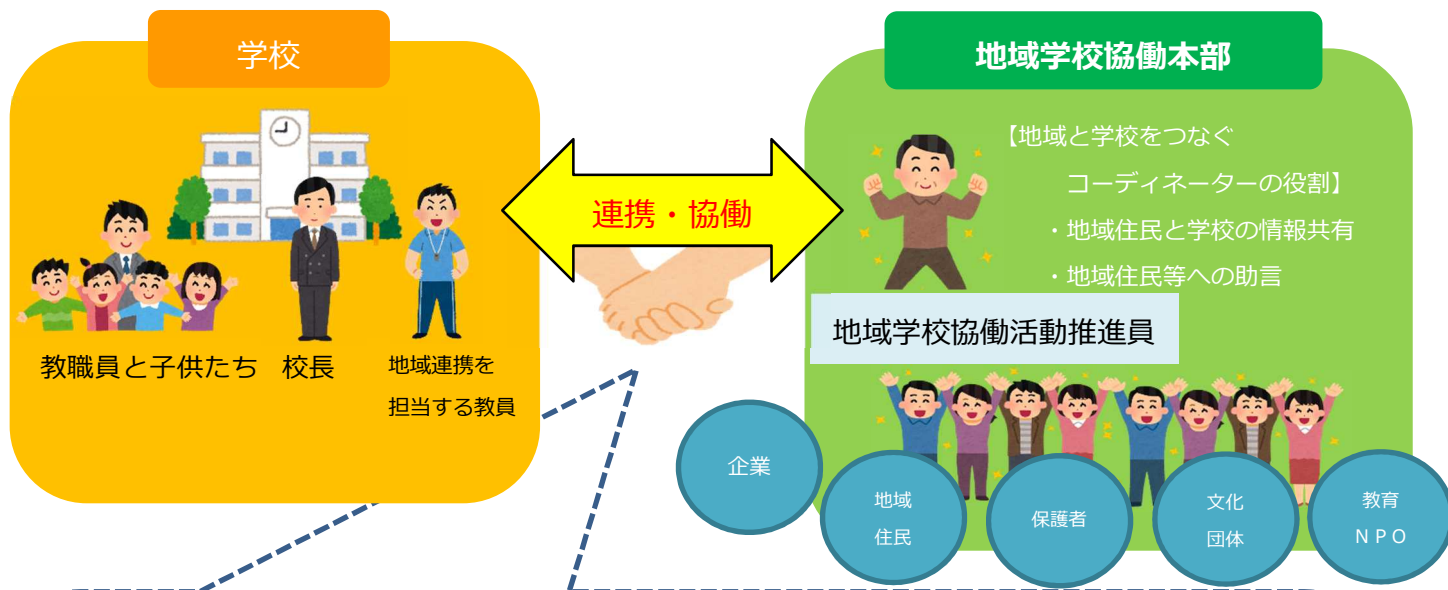
第8号 地域学校協働活動 特別版

2017. 10. 24 発行：千葉県 地域学校協働活動推進委員会



千葉県教育委員会では、地域と学校が連携・協働し、幅広い地域住民や保護者等の参画により地域全体で子供の成長を支え、地域を創生する活動である「地域学校協働活動」を推進しています。国は「地域学校協働活動」において、「地域学校協働本部」や「地域学校協働活動推進員」等、新しい名称の組織及び役割等を示しています。本号では、「地域学校協働活動」の概要や実践事例について紹介します。

地域学校協働活動は、こんな活動です！



○学びによるまちづくり・地域課題解決型学習

地域防災マップ作成、地域ブランド製品づくり、地域住民との防災教育、環境問題解決学習 等

○地域人材育成・郷土学習

「ふるさと」について地域住民から学ぶ学習、地域商店街での職場体験、伝統芸能学習、自然環境フィールドワーク 等

○地域行事・イベント・ボランティア活動への参加

伝統行事・お祭りへの参画、施設でのボランティア体験 等

○学校に対する多様な協力活動 ※学校支援地域本部の活動

これまでの学校支援地域本部等の活動のほかに、それぞれの地域にあった特色・魅力ある活動を加え、活動内容を発展させていきます。

○放課後・土曜日等における
学習・体験活動
※放課後子供教室

○多様な教育的ニーズのある
子供たちへの学習支援
※地域未来塾

○家庭教育支援活動
等

学校支援地域本部や放課後子供教室等、個々の活動を連携させ、総合化・ネットワーク化を図り、組織的に活動を発展させていきます。

地域学校協働活動について（文部科学省・厚生労働省合同ホームページ）

<http://manabi-mirai.mext.go.jp>

地域学校協働活動 で検索

地域学校協働活動の推進 Q&A

Q. 学校支援地域本部から地域学校協働本部に、名称を変更しなければいけないのでしょうか？

A. 既に学校支援地域本部等を実施している場合は、地域学校協働活動として発展的に取り組むことを踏まえ、「地域学校協働本部」と名称を変更することが望まれます。それぞれの地域において独自の名称（〇〇ネットワークなど）が定着している場合は、その名称を使用し、実質的に「地域学校協働活動」として活動することも可能です。

Q. これまでの学校支援地域本部等の活動を変えなければ、いけないのでしょうか？

A. 既に実施されている学校支援地域本部や放課後子供教室の活動は、「地域学校協働活動」の基盤の活動となります。この活動を基盤に新たな活動内容を加えたり、それぞれの活動間で連携を図ったりして活動を発展させ、それぞれの地域にあった特色・魅力ある活動を推進し、地域ならではの理想の形を作っていくことが望まれます。

Q. 地域学校協働活動推進員はどのような人に、委嘱すればよいのでしょうか？

A. 既に「地域コーディネーター」またはそれに類する立場で活躍されている方がいる場合は、その方に委嘱することが望ましいと思われます。役割や業務内容を大きく変更する必要はありません。また委嘱は市町村教育委員会が文書により（委嘱状を渡す）行うこととなります。既に委嘱を行った地域では、委嘱することで「活動をする際に、関係者に説明しやすくなった」との声も聞かれています。

鋸南町は「地域学校協働活動」を目指しています！

子供たちの「やってみたい」を、地域住民みんなで応援！鋸南町放課後子ども教室



本年度9月から「鋸南町放課後子ども教室」の活動が始まりました。運営組織は「鋸南町地域学校協働本部」です。現在は放課後子供教室のみの活動ですが、今後は学校支援地域本部、地域未来塾、土曜スクール、家庭教育支援チーム等の活動を連携させ、幅広い地域住民の参画を得ながら「鋸南町地域学校協働本部」として活動していく構想です。

「鋸南町放課後子ども教室」では、「グラウンドゴルフ」「百人一首」「ボール遊び」「英語で遊ぼう」「読書・学習」の5つの教室から自分の好きな教室を選んで参加し、教室には多くの地域住民が指導者として関わっています。初回は約100人の鋸南小学校の児童が参加しました。今後も子供たちの「やってみたいこと」を実現し、教室数も増やしていく予定です。

鋸南町では地域の子供たちと多くの地域住民が参加する放課後子供教室の活動により、安心・安全な街づくり、地域コミュニティの広がりを図っていきたいと考えています。